



全国高校生プレゼン甲子園実施要項

- 1 主催 全国高校生プレゼン甲子園実行委員会（事務局 福井県教育委員会）
- 2 共催 一般社団法人プレゼンテーション協会
- 3 後援 福井新聞社

- 4 目的 テーマについて深く考察し、自分の考えや^{おも}念いを「伝える」ことで、論理的思考力、表現力、創造力等を養うとともに、互いの発表を通して、プレゼンテーションスキルの向上を図る。

- 5 テーマ 「コロナ禍の先にある未来への提言」
予選テーマ：コロナ禍でのコミュニケーションロスへの対応（プレゼン時間3分）
令和2年度は新型コロナウイルス感染症によって登校が制限され、友人と直接会うことができず、SNSなどでコミュニケーションをとることが多かったと思います。しかし、オンラインでのコミュニケーションには限度があります。また、今後も、いつ外出や会食が制限されるかわかりません。そこで、在宅であってもリアルと変わらないコミュニケーションをとる方法を提案してください。
決勝テーマ：アフターコロナの社会（プレゼン時間5分）
コロナ禍の中で人との接し方、普段の生活、働き方など、これまでとは随分変化しました。そこで、コロナ禍を経験した後の未来の社会や生活のあり方について、自分の将来を想像しながら提案してください。

- 6 応募条件
 - ・高校生1チーム3名まで（個人でも可）
※令和3年度に高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）、特別支援学校高等部、高等専門学校（3年生まで）に在籍していること
 - ・同一学校でチームを組む
 - ・一人一回の応募とする

- 7 応募方法
 - ・公式サイトのお応募フォームから予選のプレゼン動画を提出する
応募の流れ ①プレゼン資料作成
テーマを研究し、プレゼンの構成を考える
②動画を撮影（予選3分、決勝5分）
撮影はスマホも可
発表者が画面に見えていること（一時的に見えないのは可）
③応募フォームに必要事項を記入し、動画をアップする
データが大きい場合「ギガファイル便」などを利用

- 8 日程 6月1日（火）～6月11日（金）17時 申し込み・予選動画提出期間
[6月14（月）～7月16日（金）予選審査期間]
7月21日（水）予選通過チーム発表（公式HP掲載および通過者に連絡）
7月26日（月）～8月20日（金）17時 決勝プレゼン動画提出期間
8月28日（土）決勝大会（オンライン開催）

- 9 予選審査
- ・審査員が応募作品を視聴し審査（非公開）
 - ・結果をとりまとめ、オンラインでの審査委員会で10チーム選出
 - ・公式サイトで結果を発表
- 10 決勝大会
- ・予選通過チームは決勝テーマに沿ったプレゼンを制作し、動画を提出
 - ・大会当日、動画を視聴し、審査員がオンラインで質疑応答5分実施
 - ・決勝大会の様子はリアルタイム配信および後日録画配信（YouTube）
主催者挨拶、審査員紹介、動画視聴・質疑応答、審査、表彰式等
 - ・開催場所 福井県教育総合研究所
 - ・開催時間 午前10時～午後1時
- 11 決勝審査
- ・全チームのプレゼン動画視聴と質疑応答後、オンラインの審査委員会を行い順位を決定
- 12 審査委員
- 予選（4名）
- 前田鎌利氏（審査委員長）
 - 福井県教育庁より1名
 - プレゼンテーション協会理事より2名
- 決勝（7名）
- 前田鎌利氏（審査委員長）
 - 福井県教育庁より1名
 - 実行委員5名
- 13 審査基準
- (1)テーマに対する考察、根拠、論理性、独創性
 - (2)メッセージの伝わりやすさ、構成
 - (3)印象的、効果的なスライド等のビジュアル
 - (4)話し方、訴求力、説得力
- 14 表 彰
- | | | |
|------|----|------------------|
| 最優秀賞 | 1組 | 副賞：福井県特産品一人5万円相当 |
| 優秀賞 | 3組 | 副賞：福井県特産品一人1万円相当 |
| 特別賞 | 1組 | 副賞：福井県特産品一人5千円相当 |
| 奨励賞 | 5組 | 副賞：福井県特産品一人3千円相当 |
- 参加賞：福井県立恐竜博物館年間パスポート（決勝出場者全員）
- ※福井県特産品：越前ガニ、若狭カレイ、甘えび、米、若狭牛などから各自で選択